

物語 オーストラリアの歴史

竹田いさみ著

150781121 吉田柚希

1、独立記念日が無い(オーストラリア)

ア) 1788年 1月26日(オーストラリア・デー)

イギリス国旗掲揚→アーサー・フィリップ提督

イギリスの植民地政策が公式に始動(シドニーにて)

イ) 20世紀からオーストラリアと認識

→それ以前は植民地ごとに名称

ニューサウスウェールズ

2、独立戦争が無かった理由(オーストラリア)

ア) 独立不必要

- 英間とはメリット関係(相互依存)
- アメリカ独立戦争を教訓(イギリス側)
(イギリス植民地政策巧妙に変化)

イ) オーストラリアでの植民地建設理由

- 最良の地アメリカが独立
- 気候、温暖、時給自足に最適

3、オーストラリア国民の誕生

ア) 国旗が全国的に使用

→ 1949年 国籍・市民権法発布 (チフリー首相)

→ それ以前はイギリス臣民で認識

イ) オーストラリアは白豪主義

→ 「白人のためのオーストラリア」

→ 自己防衛の本能的な対策

4、アメリカを意識しての国家建設(オーストラリア)

ア) アフリカ系黒人問題の深刻化(奴隷制の導入)
→ アメリカの苦い教訓に学習 → 奴隷制廃止

5、中国人は排斥運動の標的

ア) 反有色人種、反アジア人種
→ 反中国人に置き換え
→ 相性不適合の中国人の存在が社会問題に

6、アジア系難民の受け入れ

ア) 白人移民の国家

→ 移民と難民の無区別(白人なら)

イ) 多文化社会

→ 白人社会の多文化現象

ウ) アジア系移民とベトナム難民の存在

→ 多文化ミドルパワーの形成

まとめ

- 1) オーストラリアは自力で自治政府を形成
 - 次第に権力肥大化
 - イギリスはオーストラリアの完全統治が困難
- 2) 移民難民を多数受け入れ
 - 多数の文化の混同
 - 世界でも特徴的な国へ